

# 筋肉の慢性痛に対する鍼治療



## 鍼灸整骨治療院ふれあい

鍼灸師・マツサージ師  
**山本 透** さん

みなさん痛みはどこからくるか  
考えたことはありますか？

例えば、腰痛はどうでしょう？  
ほとんどの方が「椎間板ヘルニアがあるから」「脊柱狭窄症と言われているから」と答えるのではなく、  
「いでしょうか？これが本当だとすると、すべての痛みは骨格の構造異常からきていることとなりません。そして手術で異常を正せば、すべて治るはずですが、皆

さんの周りで手術した人も多くいる  
と思います。「痛みがとれない」「まだ痺れている」という方が  
多くいないでしょうか？それも

そのはずで、この場合、痛みも本質は骨格の構造異常ではなく、  
構造異常周辺の筋肉の痛み、つまり筋痛症だからなのです。  
どんな刺激も過剰になれば、最終的に「痛み」になります。  
熱いとか冷たいなどの温度刺激、

辛子のカプサイシンや強酸、強アリカリなどの化学的刺激なども同様です。一度に大きな刺激を受ける、あるいは大きくはないが継続的、反復的に刺激を受け続ける部位は、炎症が起きて痛みが発生します。

通常、刺激が消えたり、損傷が修復されると痛みはなくなります。が、刺激がなく組織が修復された後も痛みが残り、いつまでも続く場合があります。これが慢性痛です。慢性痛が生じている筋肉では索状の硬結の中に過敏な部位が見つかります。そこが痛みの引き金になっているトリガーポイントと呼ばれる部位であり、治療すべき場所なのです。

そのトリガーポイントに対する治療法として最も適しているのが古来から行われている鍼治療です。細い鍼が筋肉中の過敏になっているところへ直接刺さることで、より、組織は代謝され痛みが消えていきます。みなさんも腰痛をはじめとする関節の痛みは、骨格の構造異常ではなく、まず周辺の筋肉の痛みであると疑ってみる必要があるのではないのでしょうか。

### 鍼灸整骨 治療院ふれあい

七飯町本町4-11-15 ☎0138-65-6004

■受付時間／9:00～17:45

■定休日／日曜・祝日

■訪問範囲／七飯町、北斗市、旧函館市

当院についての詳しい情報は本誌 00 ページをご覧ください